

藤岡市地球温暖化対策実行計画
(事務事業編)

令和4年度実績報告書

令和5年7月

藤 岡 市

目 次

第1章 計画の概要.....	1
1 計画の期間.....	1
2 計画の対象範囲.....	1
3 計画の目標.....	1
第2章 温室効果ガスの排出状況.....	2
1 温室効果ガスの総排出量.....	2
2 活動別の温室効果ガス排出量について.....	3
(1) 燃料の使用.....	3
(2) 電気の使用.....	5
(3) 廃棄物の焼却.....	6
(4) その他.....	8
(5) 環境配慮項目（上水道・用紙）の使用量.....	9
3 総括.....	10
4 資料1 対象施設一覧.....	12
資料2-1 令和4年度活動別温室効果ガス排出量の内訳.....	14
資料2-2 基準年度(平成27年度)活動別温室効果ガス排出量の内訳.....	15
資料3-1 令和4年度所属別温室効果ガス排出状況.....	16
資料3-2 基準年度(平成27年度)所属別温室効果ガス排出状況.....	17

第1章 計画の概要

本市では、「地球温暖化対策の推進に関する法律」第21条に基づく地方公共団体実行計画として、「藤岡市地球温暖化対策実行計画（以下、実行計画という）」を平成19年9月に策定し、市自らの事務・事業から排出される温室効果ガスの削減に取り組んできました。

本報告書は、平成29年3月に策定した第3期実行計画に基づき推進してきた市の事務・事業に対する地球温暖化対策の実施状況を取りまとめたものです。

1 計画の期間

基準年度を平成27年度とした、平成29年度から令和4年度までの6年間

2 計画の対象範囲

(1) 対象となる事務・事業（対象施設については資料1参照）

市庁舎及び出先機関を含めたすべての市の組織及び施設等に係る事務・事業を対象とします（指定管理者制度により民間事業者等に管理運営を委託している施設等も含む）。

(2) 対象となる温室効果ガス

二酸化炭素（CO₂）、メタン（CH₄）、一酸化二窒素（N₂O）、ハイドロフルオロカーボン（HFC）とします。法律で対象としているパーフルオロカーボン（PFC）、六フッ化硫黄（SF₆）及び三フッ化窒素（NF₃）については、市の事務・事業からは排出につながる活動がない、あるいは排出量の把握が困難であるため対象外としています。

表1 基準年度（平成27年度）の温室効果ガス排出量と排出要因

種類	ガス排出量 (t)	地球温暖化 係数	CO ₂ 換算量 (t-CO ₂)	CO ₂ 排出量 割合
CO ₂ (二酸化炭素) 我が国における温室効果ガス排出量の9割以上を占めている。 要因：化石燃料の燃焼、電気の使用、廃プラスチックの焼却等	16,187	1	16,187	97.32%
CH ₄ (メタン) 天然ガスの主成分。有機物が嫌気状態で腐敗・発酵する際に生じる。 要因：自動車の走行、廃棄物の焼却等	0.039	25	1	0.01%
N ₂ O(一酸化二窒素) 窒素酸化物。 要因：自動車の走行、廃棄物の焼却等	1.482	298	442	2.65%
HFC(ハイドロフルオロカーボン) 代替フロンとして冷媒等に使用されている。 要因：カーエアコンの使用	0.002	1,430	3	0.02%
計			16,633	100.00%

3 計画の目標

基準年度を平成27年度とし、平成29年度から令和4年度までの6年間で、温室効果ガス総排出量を毎年1%、6年間で6%以上削減することを目標としています。

第2章 温室効果ガスの排出状況

1 温室効果ガスの総排出量

令和4年度の市の事務・事業に伴う温室効果ガスの総排出量は、**15,311t-CO₂**となり、基準年度比で**7.9% (1,322t-CO₂)**減少しました(表2)。

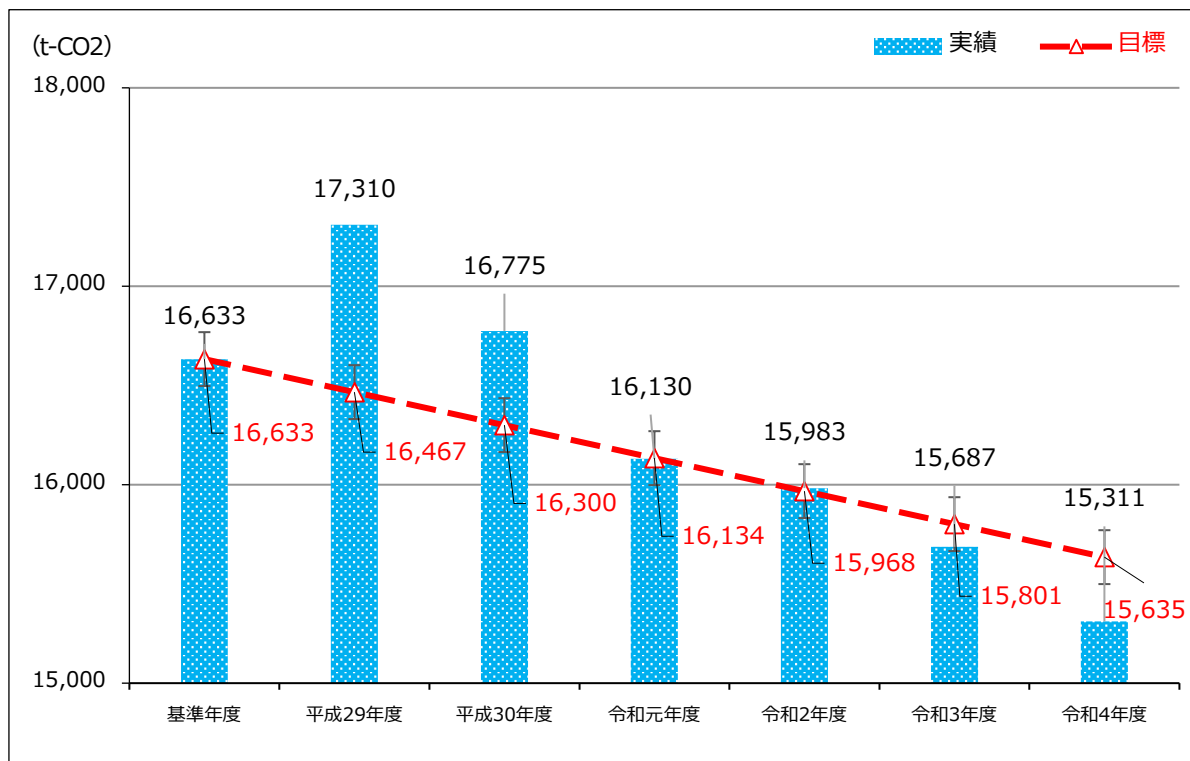


図1 温室効果ガス総排出量の推移

温室効果ガス排出量の活動別排出量の推移については、表2のとおりとなります。

表2 活動別温室効果ガス排出量の推移

(単位：t-CO₂)

	基準年度 平成27年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	増減量	増減率
燃料の使用	2,068	1,933	1,932	1,791	1,575	1,488	1,616	-452	-21.9%
電気の使用	8,707	8,225	8,157	8,127	7,723	7,463	7,461	-1,246	-14.3%
廃棄物の焼却	5,846	7,140	6,673	6,200	6,674	6,725	6,224	378	6.5%
その他	12	12	13	12	11	11	10	-2	-16.6%
合計	16,633	17,310	16,775	16,130	15,983	15,687	15,311	-1,322	-7.9%

2 活動別の温室効果ガス排出量について

(1) 燃料の使用

燃料の使用による温室効果ガス排出量は、基準年度比で **21.9% (452t-CO₂)** 減少しました (表 3)。

A 重油の排出量が減少した主な要因は、学校給食センターの移転や、老人福祉センターの空調機器の故障により、A 重油を使用しなくなったことなどがあります。

LPG の排出量が増加した主な要因は、新学校給食センターで使用する燃料を A 重油から LPG へ切り替えたことなどがあります。

表3 燃料の種類別温室効果ガス排出状況

(単位：t-CO₂)

	基準年度 平成 27 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	増減量	増減率
ガソリン	181	192	196	176	168	164	171	-10	-5.5%
灯油	515	550	596	549	501	507	538	23	4.5%
軽油	134	150	127	120	98	98	99	-35	-26.1%
A 重油	373	84	16	10	8	0	5	-368	-98.7%
LPG	145	303	390	341	327	346	347	202	139.3%
都市ガス	720	654	607	595	473	373	456	-264	-36.7%
温室効果ガス 排出量合計	2,068	1,933	1,932	1,791	1,575	1,488	1,616	-452	-21.9%

燃料別の排出量をグラフに示したものは、下記のとおりとなります（図2）。

各項目をみると、基準年度と比較して灯油は横ばい、LPGは増加したものの、他の燃料はすべて減少しました。

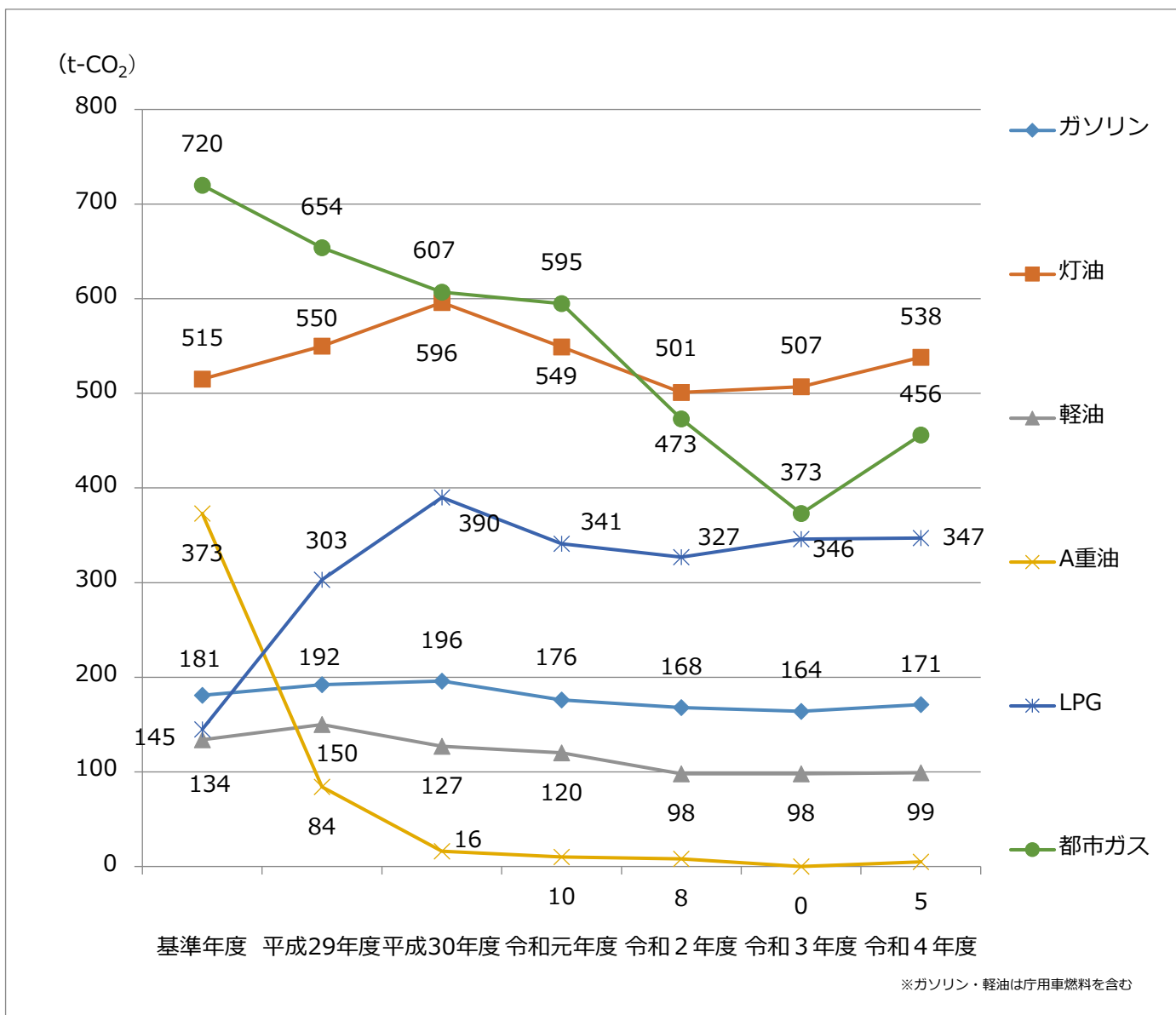


図2 燃料の種類別温室効果ガス排出量の推移

(2) 電気の使用

電気の使用による温室効果ガス排出量は、基準年度比で **14.3% (1,246 t-CO₂)** 減少しました (表 4)。

温室効果ガス排出量が基準年度と比較して減少した要因は、市有施設において、設備更新により電気使用量が減少傾向にあるほか、改修による省エネルギー化や施設の廃止などがあげられます。

表 4 電気の使用による温室効果ガス排出量

(単位：t-CO₂)

	基準年度 平成 27 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	増減量	増減率
電気の使用による 温室効果ガス 排出量	8,707	8,225	8,157	8,127	7,723	7,463	7,461	-1,246	-14.3%

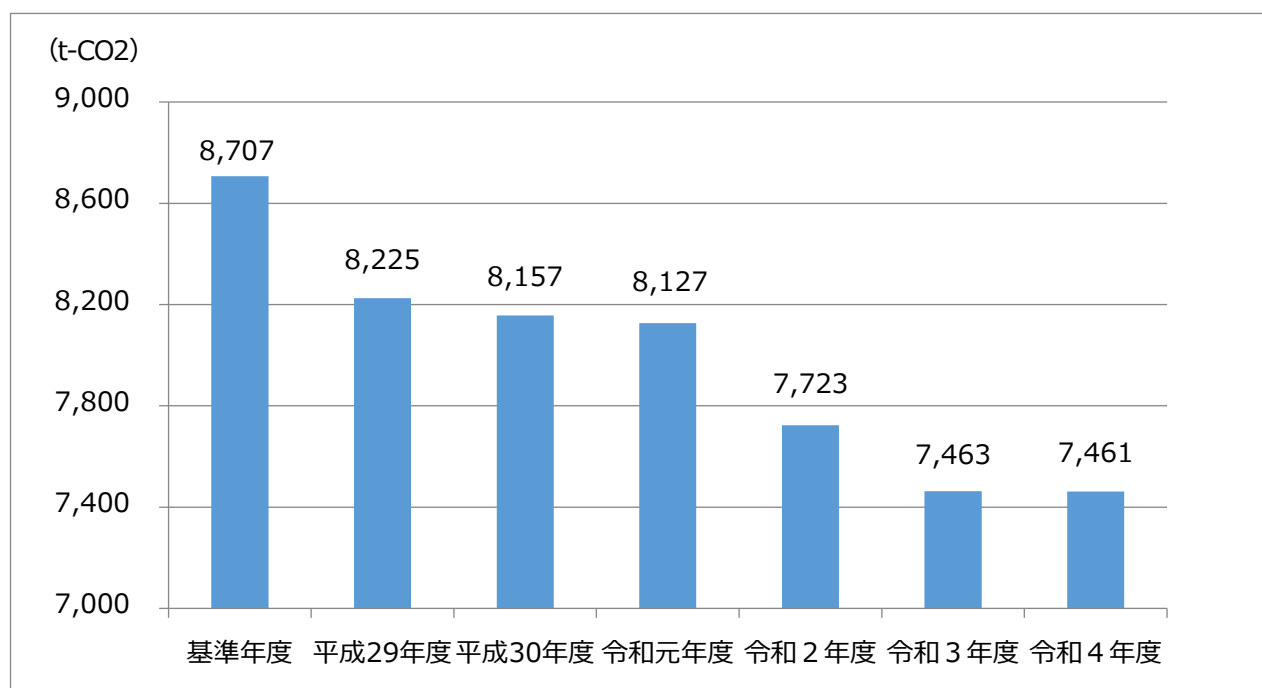


図 3 電気の使用による温室効果ガス排出量の推移

(3) 廃棄物の焼却

廃棄物の焼却に由来する温室効果ガスの排出量は、基準年度比で **6.5% (378t-CO₂)** 増加しました(表5)。これは、廃棄物の焼却量が基準年度比で0.1%(34t)増加したことに加え、温室効果ガスの排出量に大きく影響する廃棄物に含まれる廃プラスチック(ビニール、プラスチック容器など)の割合が高かったことが影響していると考えられます。一方で、廃プラスチックは焼却することで発生する熱エネルギーが大きいので、廃プラスチックを廃棄物燃焼の燃料として活用するサーマルリサイクルに利用している一面もあります。

廃プラスチックの焼却由来の温室効果ガス排出量については、総排出量の4割程度を占めており、温室効果ガス排出量の削減に大きな影響を与えていますが、市の事務・事業から排出されるごみのほか、一般家庭や事業所などから排出されるごみも算定に含まれるため、市の取り組みだけでは温室効果ガス排出量削減の推進は困難な状況となっています。

表5 廃棄物焼却による温室効果ガス排出量と各種焼却量

	基準年度 平成27年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	増減量	増減率
廃棄物焼却由来 温室効果ガス 排出量(t-CO ₂)	5,846	7,140	6,673	6,200	6,674	6,725	6,224	378	6.5%
廃棄物の 焼却量(t)	25,650	26,325	26,539	25,899	26,758	25,438	25,684	34	0.1%
廃プラスチックの 焼却量(t)	1,954	2,417	2,247	2,080	2,246	2,272	2,090	136	7.0%

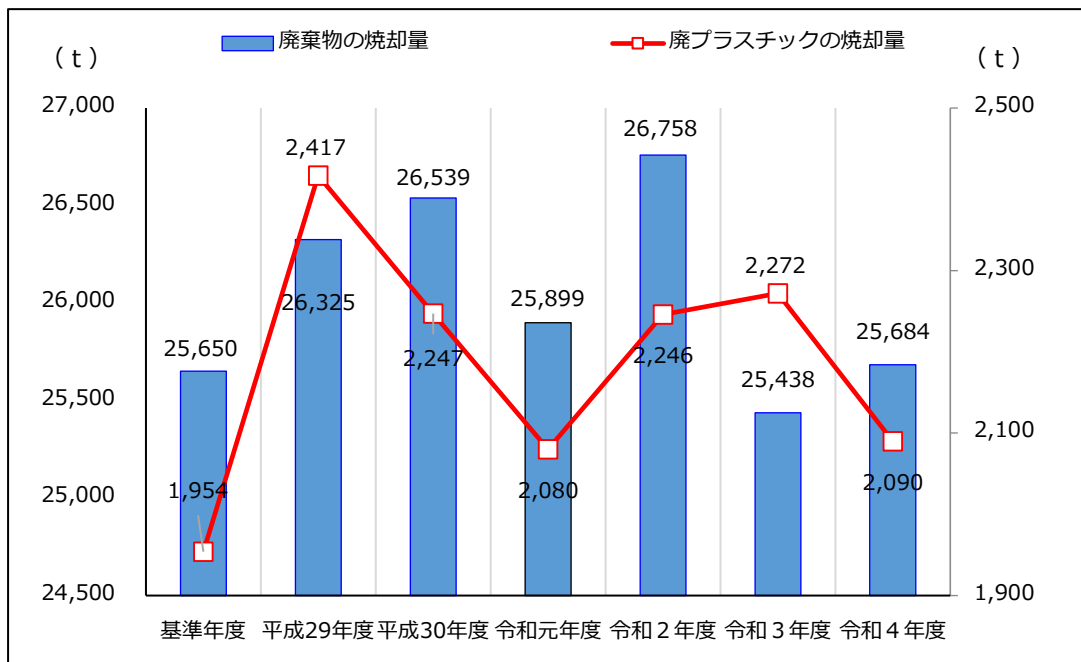


図4 廃棄物の焼却量と廃プラスチックの焼却量の推移

なお、廃棄物の中に含まれる廃プラスチックの焼却量は、廃棄物焼却量とその廃棄物に含まれるプラスチック類比率の2点が大きく影響します。廃プラスチック焼却量は、下図で示す算定方法により、年4回実施されているごみ組成分析結果の水分含有率とプラスチック類比率を基に推計されます。

廃棄物焼却量 × (1 - 水分含有率) × プラスチック類比率		
項目	基準年度	令和4年度
廃棄物焼却量	25,650 t	25,684 t
水分含有率	45.6%	40.6%
プラスチック類比率	14.0%	13.7%
廃プラスチック焼却量	1,954 t	2,090 t

図5 廃プラスチックの焼却量の算定方法

温室効果ガスの排出量に最も大きな影響を与えている廃棄物（廃プラスチックを含む）の焼却処分した部分を除いて算定した場合の令和4年度温室効果ガス排出量は、基準年度と比較して**14.0%減少しました**（表6）。温室効果ガスの総排出量は、廃棄物の焼却由来の排出量に大きく左右されていることがうかがえます。

表6 一般廃棄物の焼却由来の排出量を除いた温室効果ガス排出量

（単位：t-CO₂）

種類	基準年度 平成27年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	増減量	増減率
燃料・電気・ その他	10,787	10,170	10,102	9,930	9,309	8,962	9,280	-1,507	-14.0%
廃棄物焼却	5,846	7,140	6,673	6,200	6,674	6,725	6,224	378	6.5%
総排出量	16,633	17,310	16,775	16,130	15,983	15,687	15,504	-1,129	-6.8%

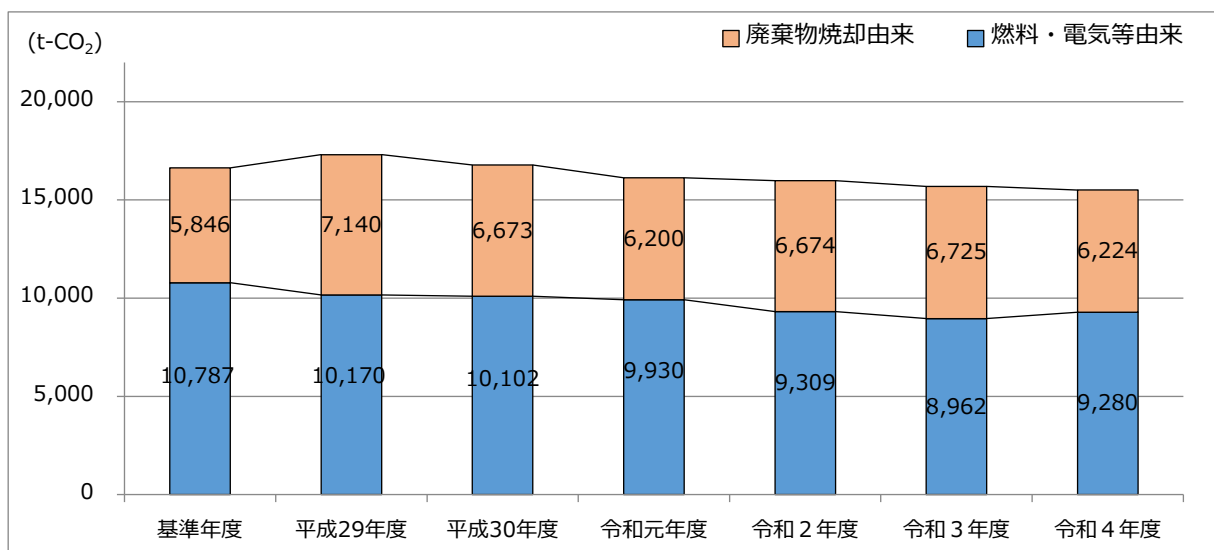


図6 温室効果ガスの総排出量における由来別排出量の比較

(4) その他

① 庁用車走行距離

庁用車の走行距離は、基準年度比で **18.3% (216,858km)** 減少しました (表 7)。

表 7 庁用車の走行距離と温室効果ガス排出量

	基準年度 平成 27 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	増減量	増減率
走行距離合計 (km)	1,185,977	1,238,032	1,293,127	1,219,599	1,049,757	1,052,849	969,119	-216,858	-18.3%
温室効果ガス 排出量 (t-CO ₂)	9	9	10	9	7	7	7	-2	-22.2%

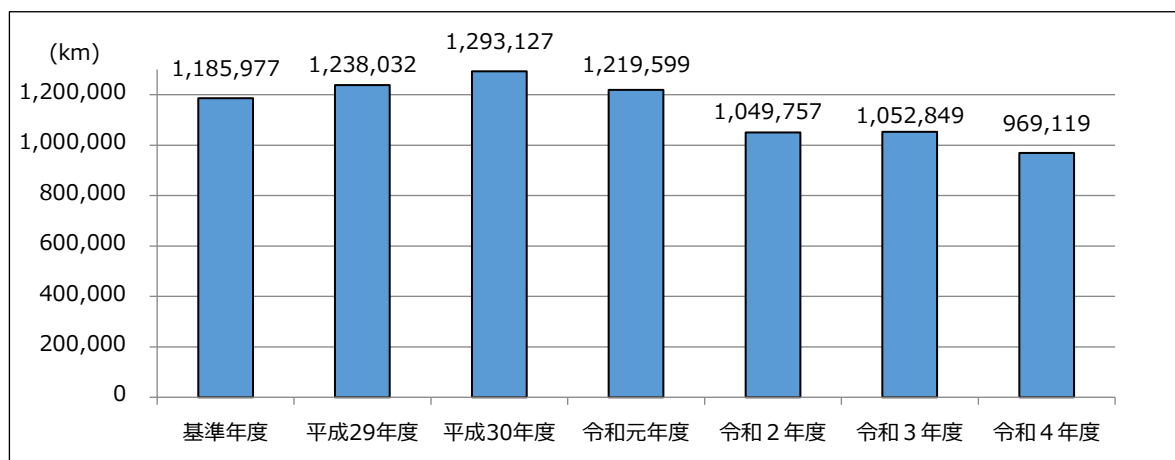


図 7 庁用車の走行距離

② その他

カーエアコン搭載車数は、基準年度比で 3 台減少しましたが、カーエアコンの搭載車数から算定される温室効果ガス排出量は、基準年度と比較して増減はありませんでした (表 8)。

なお、笑気ガス (麻酔剤) の使用はありませんでした。

表 8 その他項目

	基準年度 平成 27 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
カーエアコン 搭載車数 (台)	222	230	225	220	230	219	219
温室効果 ガス(t-CO ₂)	3	3	3	3	3	3	3
笑気ガス (麻酔剤) 使用量 (kg)	0	0	0	0	0	0	0

(5) 環境配慮項目（上水道・用紙）の使用量

①上水道使用量

上水道使用量は、基準年度比で**14.1% (30,380 m³) 減少**しました（表9）。これは、25mプール（25m×13m×1.5mで計算した容量）約62杯分の水道水を削減したことになります。

感染症対策のため休止していた学校でのプール活動等の再開に伴い、水道使用量はコロナ禍以前の水準に戻りつつあります。

表9 上水道使用量

(単位：m³)

	基準年度 平成27年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	増減量	増減率
上水道使用量	215,254	202,382	205,102	203,182	162,719	160,670	184,874	-30,380	-14.1%

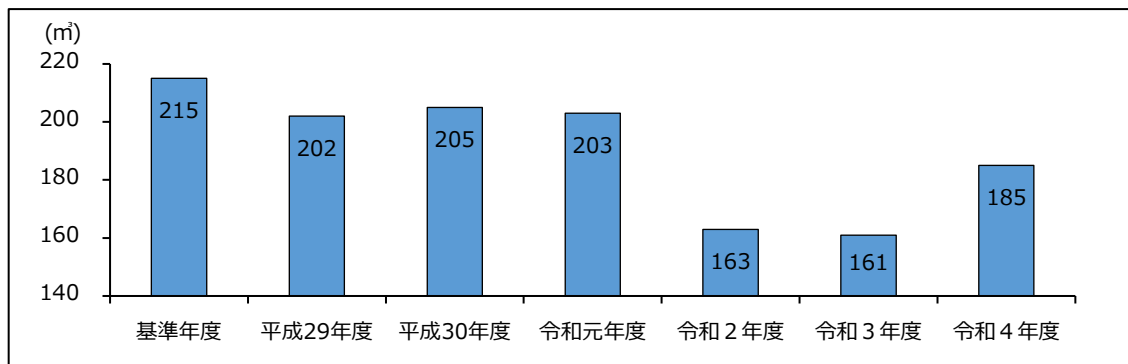


図8 上水道使用量の推移

②用紙使用量

用紙使用量は、基準年度比で**22.7% (3,807千枚) 減少**しました（表10）。これは、ペーパーレス会議システムの導入や裏面の再利用等の意識が浸透してきたことがあげられ、A4コピー用紙（1箱2,500枚入）約1,500箱分、使用量が減少したことになります。

表10 用紙使用量

(単位：千枚)

	基準年度 平成27年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	増減量	増減率
用紙使用量	16,768	15,152	15,259	15,535	14,506	13,452	12,961	-3,807	-22.7%

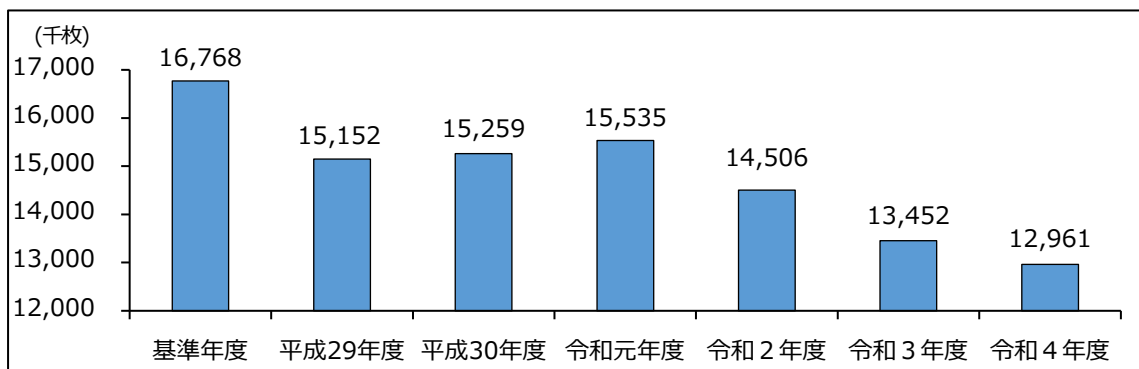


図9 用紙使用量の推移

3 総括

平成 29 年 3 月に策定した「第 3 期藤岡市地球温暖化対策実行計画」に基づき、市の事務・事業に対する地球温暖化対策を推進してきました。

計画の目標としては、令和 4 年度までに温室効果ガス総排出量を基準年度（平成 27 年度）比で 6%以上削減（1年間で 1%以上の削減）することとしていましたが、令和 4 年度の排出量実績は、基準年度と比較して 7.9%の減少（P2,表 2）となり、目標を達成しました。

温室効果ガス排出量の活動別排出量は、燃料の使用による温室効果ガス排出量は 21.9%減、電気の使用による温室効果ガス排出量は 14.3%減となりましたが、廃棄物の焼却による温室効果ガス排出量は 6.5%増となりました。

燃料の使用及び電気の使用による温室効果ガス排出量は、基準年度と比べて減少傾向にあり、設備更新などの効果が出ていますが、燃料の使用量は、前年と比較して増加しています。令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症対策で施設が一時休業していましたが、令和 4 年度では経済活動がコロナ禍以前と同様に戻りつつあったことなどが要因と考えられます。

今後は、低燃費車、ハイブリッド車、電気自動車などのクリーンエネルギー自動車の導入推進、省エネ機器への更新などのハード面で対策を行うとともに、職員に対するエコドライブの周知、クールビズやウォームビズの徹底による空調機器の適正利用の推進などのソフト面においても対策を行い、さらに温室効果ガス排出量を削減する必要があります。

廃棄物の焼却による温室効果ガス排出量が増加した要因は、新型コロナウイルス感染症の影響で、自宅で過ごすことが増えたことに伴い、一般廃棄物の焼却量が増加したことや、一般廃棄物に含まれる廃プラスチックの焼却量が基準年度に比べて増加したことが大きく影響しています。一般廃棄物、特に廃プラスチックの焼却に関しては、職員の取り組みだけで総量を削減することは困難であり、市民や事業者の協力が不可欠となります。ごみの減量化については、市民・事業者に対するごみの分別と減量化に関する啓発活動を粘り強く行っていく必要があります。

このような中、環境課では「ふじおか 5 つのゼロ宣言」におけるプラスチックごみゼロ、食品ロスゼロの達成に向けて、ペットボトルからマイボトルへの転換を図るべく、民間事業者と協定を締結し、市有施設に給水スタンドを設置しているほか、各種イベントを活用し、フードドライブ及びフードバンクを推進しました。

また、清掃センターでは、一般廃棄物の排出量削減のために、廃食油の回収や剪定枝粉碎機の貸し出しによる剪定枝の堆肥化の推進を実施しています。

市民や事業者への浸透には時間を要しますが、このような具体的かつ継続的な取り組みを行っていくことが市全体のごみ減量化に繋がると考えられるため、分別や 5R 等含めてごみ問題に対する意識が高まるよう啓発活動を続けていきます。

第3期実行計画は、令和4年度で計画期間満了となることから、「第3次藤岡市環境基本計画」に抱合されていた「藤岡市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」をこれまでの計画にくわえて一本化したうえで数値目標等の見直しを行うとともに、2050年のカーボンニュートラル達成に向けた市民及び事業者の取り組むべき事項を設定した「第4期藤岡市地球温暖化対策実行計画」を令和5年3月に策定しました。

地球温暖化対策の推進には、市職員の取り組みにとどまらず、市民や事業者の協力が必要です。環境情報の提供を行うことによる職員一人一人の意識高揚を図るとともに、市民、事業者に対する啓発活動を積極的に実施し、第4期実行計画の目標達成に向けて、引き続き取り組みを進めます。

4 資料

資料1 対象施設一覧

No.	施設名	所管課	No.	施設名	所管課	
1	旧みかほ保育園	企画課	41	往路灯等	土木課	
2	みかほみらい館	地域づくり課	42	庚申山総合公園	都市施設課	
3	本庁舎	財政課	43	毛野国白石丘陵公園		
4	中庁舎		44	藤岡総合運動公園		
5	東庁舎		45	市民体育館		
6	三波川東集会場		46	中央公園		
7	平滑ゲートボール場		47	烏川緑地		
8	旧三波川幼稚園		48	神流川緑地		
9	旧日野中央小学校		49	市民プールみずとびあ		
10	旧日野西小学校		50	他公園等		
11	本庁舎(非常用発電装置)		総務課	51		排水施設等
12	旧鬼石総合支所			52	鬼石総合支所(鬼石公民館を含む)	鬼石振興課
13	防災センター	地域安全課	53	他便所施設等	にぎわい観光課	
14	防災公園		54	桜山公園		
15	消防団詰所		55	自然活用管理センターやどや		
16	他消防施設等		56	体験学習館MAG		
17	偕同苑	市民課	57	譲原農産物処理加工施設天神茶屋		
18	保健センター	健康づくり課	58	小平山村活性化センター		
19	福祉会館	福祉課	59	他観光施設等	経営課 浄水課	
20	生活介護センターもくせい		60	中央浄水場		
21	障害者支援センターきらら		61	北部浄水場		
22	児童デイサービスセンターふらっと		62	東部浄水場		
23	元気サポートセンターふじの花	元気長寿課	63	上の山浄水場		
24	高齢者自立センター鬼石		64	他上水道施設等		
25	小野保育園	子ども課	65	汚水中継ポンプ等	下水道課	
26	みどりの学童クラブ		66	国民健康保険鬼石病院	(鬼石病院)	
27	藤岡中央児童館		67	介護老人保健施設鬼石	事務課	
28	蛇喰溪谷休憩所	森林課	68	教育庁舎	教育総務課	
29	清掃センター	清掃センター	69	藤岡第一小学校		
30	鬼石資源化センター		70	藤岡第二小学校		
31	コミュニティセンターやすらぎ		71	神流小学校		
32	保美憩いの広場		72	小野小学校		
33	ららん藤岡	商工観光課	73	美土里小学校		
34	ふじふれあい館		74	美九里東小学校		
35	土と火の里公園		75	美九里西小学校		
36	高山社青報館		76	平井小学校		
37	他観光施設等		77	日野小学校		
38	農業研修センター	農政課	78	鬼石北小学校		
39	藤岡かんがい排水施設		79	鬼石小学校		
40	他かんがい排水施設等		80	東中学校		

No.	施設名	所管課
81	北中学校	教育総務課
82	小野中学校	
83	西中学校	
84	鬼石中学校	
85	にじの家	学校教育課
86	通級指導教室	
87	総合学習センター	生涯学習課
88	藤岡公民館	
89	神流公民館	
90	小野公民館	
91	美土里公民館	
92	美九里公民館	
93	平井公民館	
94	日野公民館	
95	藤岡市民ホール	
96	鬼石多目的ホール	
97	上大塚東組集会所	
98	中原集会所	
99	駒形集会所	
100	藤岡歴史館	文化財保護課
101	国指定史跡高山社跡	
102	世界遺産高山社跡交流センター	
103	関東管領平井城址公園	
104	関東管領金山城址公園	
105	他文化財施設等	
106	学校給食センター	学校給食センター
107	図書館	図書館

令和5年3月31日現在

資料 2-1 令和 4 年度 活動別温室効果ガス排出量の内訳

種別	活動項目		活動量	単位	排出量(kg-CO ₂)	構成比	
CO ₂	燃料使用量	ガソリン	73,560	ℓ	170,659	1.115%	
		灯油	216,119	ℓ	538,136	3.515%	
		軽油	38,200	ℓ	98,556	0.644%	
		A重油	2,000	ℓ	5,420	0.035%	
		液化石油ガス (LPG)	138,215	kg	346,920	2.266%	
		都市ガス	212,044	m ³	455,895	2.978%	
	電気使用量	東京電力	11,915,708	kWh	5,445,479	35.567%	
		エネット	603,922	kWh	244,588	1.598%	
		シナジアパワー	3,200,495	kWh	1,433,822	9.365%	
		CD エナジーダイレクト	762,061	kWh	313,207	2.046%	
		リエスパワー(株)	63,837	kWh	23,492	0.153%	
一般廃棄物 (廃プラスチック) 焼却量		2,090	t	5,789,522	37.814%		
CH ₄	自動車走行距離	ガソリン	普通・小型自動車	173,151	km	43	0.002%
			軽自動車	273,063	km	68	
			普通貨物車	365	km	0	
			小型貨物車	99,034	km	37	
			軽貨物車	286,102	km	79	
			特殊用途車	8,210	km	7	
	軽油	普通・小型自動車	0	km	0		
		普通貨物車	6,311	km	2		
		小型貨物車	14,608	km	3		
		特殊用途車	56,614	km	18		
		バス	51,661	km	22		
	一般廃棄物焼却量		25,684	t	610	0.004%	
	N ₂ O	自動車走行距離	ガソリン	普通・小型自動車	173,151	km	
軽自動車				273,063	km	1,790	
普通貨物車				365	km	4	
小型自動車				99,034	km	767	
軽貨物車				286,102	km	1,876	
特殊用途車				8,210	km	86	
軽油		普通・小型自動車	0	km	0		
		普通貨物車	6,331	km	26		
		小型貨物車	14,608	km	39		
		特殊用途車	56,614	km	422		
		バス	51,661	km	385		
一般廃棄物焼却量		25,684	t	433,972	2.834%		
笑気ガス使用量		0	Kg	0	0.00%		
HFC	封入カーエアコンの台数		219	台	3,132	0.020%	
合計 (CO ₂ 換算量)					15,310,580	100%	

資料 2-2 基準年度（平成 27 年度）活動別温室効果ガス排出量の内訳

種別	活動項目		活動量	単位	排出量(kg-CO ₂)	構成比	
CO ₂	燃料使用量	ガソリン	78,117	ℓ	181,231	1.09%	
		灯油	206,887	ℓ	515,149	3.10%	
		軽油	51,805	ℓ	133,657	0.80%	
		A 重油	137,600	ℓ	372,896	2.24%	
		液化石油ガス (LPG)	57,710	kg	144,852	0.87%	
		都市ガス	334,876	m ³	719,983	4.33%	
	電気使用量	東京電力(株)	13,574,861	kWh	6,855,305	41.22%	
		丸紅(株)	1,912,363	kWh	921,759	5.54%	
		エネサーブ(株)	1,261,108	kWh	799,542	4.81%	
		日本ロジテック協同組合	272,565	kWh	105,210	0.63%	
		(株)エネット	54,643	kWh	24,808	0.15%	
一般廃棄物 (廃プラスチック) 焼却量			1,954	t	5,412,580	32.54%	
CH ₄	自動車走行距離	ガソリン	普通・小型自動車	192,988	km	48	0.002%
			軽自動車	261,225	km	65	
			普通貨物車	0	km	0	
			小型貨物車	112,718	km	42	
			軽貨物車	282,571	km	78	
			特殊用途車	9,259	km	8	
	軽油	普通・小型自動車	0	km	0		
		普通貨物車	124,969	km	47		
		小型貨物車	21,336	km	4		
		特殊用途車	69,129	km	22		
		バス	111,782	km	48		
		一般廃棄物焼却量	25,650	t	609	0.004%	
	N ₂ O	自動車走行距離	ガソリン	普通・小型自動車	192,988	km	
軽自動車				261,225	km	1,713	
普通貨物車				0	km	0	
小型自動車				112,718	km	873	
軽貨物車				282,571	km	1,853	
特殊用途車				9,259	km	97	
軽油		普通・小型自動車	0	km	0		
		普通貨物車	124,969	km	521		
		小型貨物車	21,336	km	57		
		特殊用途車	69,129	km	515		
		バス	111,782	km	833		
		一般廃棄物焼却量	25,650	t	433,398	2.61%	
笑気ガス使用量			0	kg	0	0.00%	
HFC	封入カーエアコンの台数		222	台	3,175	0.02%	
合計 (CO ₂ 換算量)					16,632,646	100%	

資料 3-1 令和 4 年度 所属別温室効果ガス排出状況

(CO₂換算：単位 kg-CO₂)

所属名	燃料の使用						電気の使用	廃棄物の使用	その他*	計
	ガソリン	灯油	軽油	A重油	L P G	都市ガス				
秘書課	3,510	0	0	0	0	0	0	0	181	3,691
企画課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域づくり課	3,503	0	0	0	0	122,797	246,264	0	148	372,712
財政課	16,059	11,952	805	0	0	86	241,052	0	1,052	271,006
行革・デジタル推進課	0	0	63	0	0	0	0	0	0	63
総務課	348	0	0	0	0	0	385	0	28	761
職員課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域安全課	7,938	0	4,612	0	0	0	33,632	0	661	46,843
契約検査課	464	0	0	0	0	0	0	0	28	492
市民課	174	151,355	0	0	0	292	24,533	0	30	176,384
税務課	661	0	0	0	0	0	0	0	43	704
納税相談課	557	0	0	0	0	0	0	0	64	621
保険年金課	46	0	0	0	0	0	0	0	15	61
福祉課	11,799	0	764	0	35	424	92,369	0	532	105,922
元気長寿課	2,274	26,145	0	0	0	106,889	113,855	0	144	249,306
介護保険課	4,925	0	0	0	0	0	0	0	350	5,275
健康づくり課	759	0	0	0	0	80	0	0	68	907
子ども課	1,810	50	0	0	5,297	0	42,976	0	161	50,294
複合施設建設室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
森林課	1,030	0	0	0	0	0	1,382	0	66	2,478
環境課	2,552	0	0	0	0	0	0	0	117	2,669
清掃センター	12,899	149,893	58,669	0	349	0	1,359,615	6,224,104	686	7,806,216
商工観光課	3,839	0	459	0	18,405	0	355,429	0	184	378,317
農政課	3,967	0	0	0	0	0	7,959	0	255	12,181
土木課	6,967	0	0	0	0	0	25,039	0	321	32,328
建築課	1,889	0	0	0	0	0	0	0	98	1,987
都市計画課	1,009	0	0	0	0	0	0	0	75	1,085
都市施設課	9,615	0	3,532	0	46	196,734	694,513	0	254	904,695
区画整理課	812	0	0	0	0	0	1,642	0	61	2,515
鬼石振興課	3,786	0	428	0	226	0	25,600	0	247	30,287
にぎわい観光課	4,243	1,830	0	5,420	16,412	0	82,284	0	187	110,377
経営課	0	0	0	0	88	0	2,093,963	0	0	2,094,051
水道工務課	6,111	0	2,732	0	0	0		0	385	9,228
浄水課	12,537	0	0	0	0	0		0	558	13,096
下水道課	1,397	0	0	0	0	0	20,899	0	94	22,389
会計課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
議事課	552	0	0	0	0	0	0	0	46	599
農業委員会事務局	371	0	0	0	0	0	0	0	31	402
監査委員事務局	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教育総務課	10,528	1,325	19,925	0	0	146	900,864	0	1,033	933,821
学校教育課	1,761	44,569	0	0	496	0	9,019	0	137	55,982
生涯学習課	3,318	28,904	0	0	192	381	155,676	0	169	188,640
文化財保護課	6,644	894	0	0	0	0	57,937	0	357	65,832
スポーツ課	1,940	0	581	0	0	0	0	0	77	2,597
学校給食センター	1,067	0	413	0	247,687	0	376,534	0	101	625,802
図書館	1,051	0	0	0	0	28,066	49,162	0	73	78,353
鬼石病院	15,945	121,221	5,573	0	57,685	0	448,004	0	1,185	649,613
合計	170,659	538,136	98,556	5,420	346,919	455,895	7,460,588	6,224,104	10,304	15,310,580

※その他・排出活動が「自動車走行距離」「笑気ガスの使用」「封入カーエアコン台数」のもの

※所属名は令和 5 年 4 月 1 日のもの

資料 3-2 基準年度（平成 27 年度）所属別温室効果ガス排出状況

(CO₂換算：単位 kg-CO₂)

所属名	燃料の使用						電気 の使用	廃棄物 の使用	その他*	計
	ガソリン	灯油	軽油	A重油	LPG	都市ガス				
秘書課	3,596	0	0	0	0	0	0		192	3,788
財政課	22,664	13,272	17,335	0	0	151	301,632		1,675	356,729
自治交流課	0	1,175	0	0	73	123,309	343,260		0	467,817
総務課	0	0	57	0	0	0	0		0	57
地域安全課	7,672	0	3,710	0	100	0	25,296		438	37,216
契約検査課	557	0	0	0	0	0	0		33	590
市民課	800	119,164	0	0	0	454	35,282		48	155,748
税務課	742	0	0	0	0	0	0		46	788
納税控除課	1,670	0	0	0	0	0	0		127	1,797
保険年金課	1,253	0	0	0	0	0	0		76	1,328
環境課	2,318	0	3	0	0	0	0		114	2,434
清掃センター	12,115	147,453	59,366	0	637	0	1,757,201	5,849,587	1,211	7,827,570
健康づくり課	1,346	0	0	0	0	254	0		109	1,708
福祉課	10,707	0	0	0	84	271,579	277,565		556	560,491
介護高齢課	8,614	22,759	1,300	2,710	271	531	38,169		520	74,874
子ども課	2,793	50	0	0	12,629	0	66,948		284	82,705
商工観光課	1,578	5,822	0	0	34,897	0	454,717		69	497,081
農林課	1,346	0	0	0	0	0	2,130		72	3,547
農村整備課	4,002	0	0	0	0	0	10,140		187	14,330
土木課	7,313	0	0	0	0	0	29,907		340	37,559
建築課	3,422	0	0	0	0	0	0		193	3,615
都市計画課	10,267	2,637	3,369	0	107	301,345	730,787		305	1,048,819
北瀬岡町周辺土地区画 整理事務所	1,299	209	0	0	36	0	8,308		80	9,932
地域振興課	7,371	498	815	16,260	93	0	52,381		376	77,794
にぎわい観光課	2,923	4,997	0	17,886	16,097	0	126,464		48	168,415
経営課	0	0	0	0	113	0			0	2,466,996
水道工務課	8,097	0	2,064	0	0	0	2,466,883		400	10,561
浄水課	12,366	0	0	10,840	0	0			511	23,717
下水道課	3,153	0	0	0	0	0	12,646		159	15,958
議事課	879	0	0	0	0	0	0		44	923
農業委員会事務局	383	0	0	0	0	0	0		28	411
教育総務課	6,677	1,992	29,990	0	0	269	944,099		1,170	984,197
学校教育課	2,114	61,558	0	0	1,226	0	8,117		151	73,166
生涯学習課	7,292	12,679	0	0	759	1,600	250,043		419	272,791
文化財保護課	6,832	0	1,084	0	0	0	81,116		373	89,404
スポーツ課	2,596	0	851	0	0	0	0		101	3,549
学校給食センター	872	916	929	325,200	13,399	0	177,239		86	518,641
図書館	844	0	1,091	0	0	20,492	55,335		75	77,837
鬼石病院	12,758	119,968	11,693	0	64,331	0	450,958		1,050	660,757
合計	181,231	515,149	133,657	372,896	144,852	719,983	8,706,624	5,849,587	11,667	16,632,646

※その他・排出活動が「自動車走行距離」「笑気ガスの使用」「封入カーエアコン台数」のもの

※所属名は基準年度当時のもの

藤岡市地球温暖化対策実行計画
令和4年度実績報告書

令和5年7月

発行 藤岡市 森林環境部 環境課

〒375-8601

群馬県藤岡市中栗須327番地

電話 0274-40-2264 (直通)

FAX 0274-24-9268

Eメール

kankyo@city.fujioka.gunma.jp
